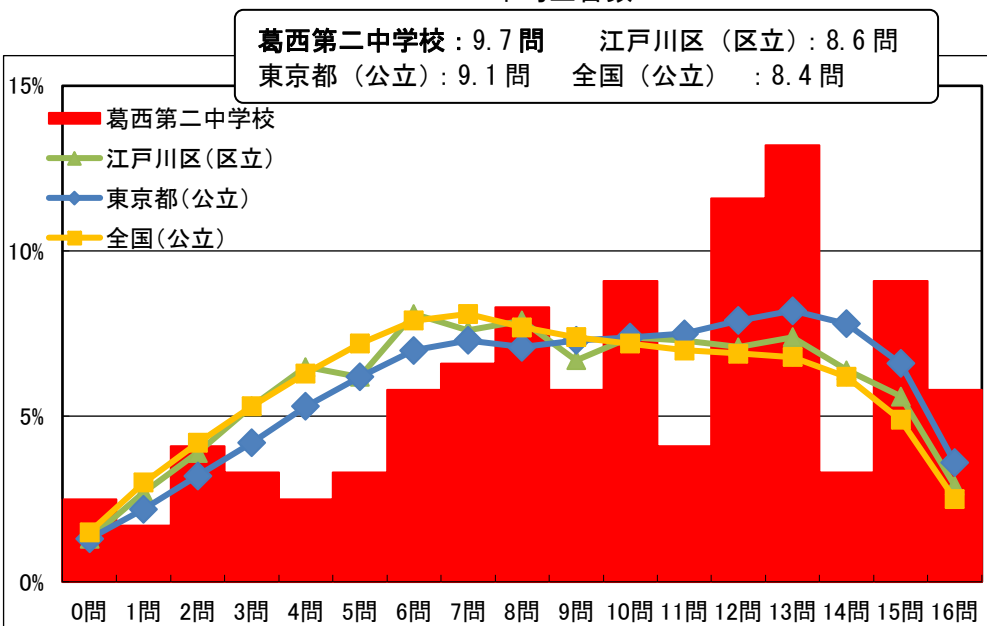


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【数学】 葛西第二中学校

正答数分布

平均正答数

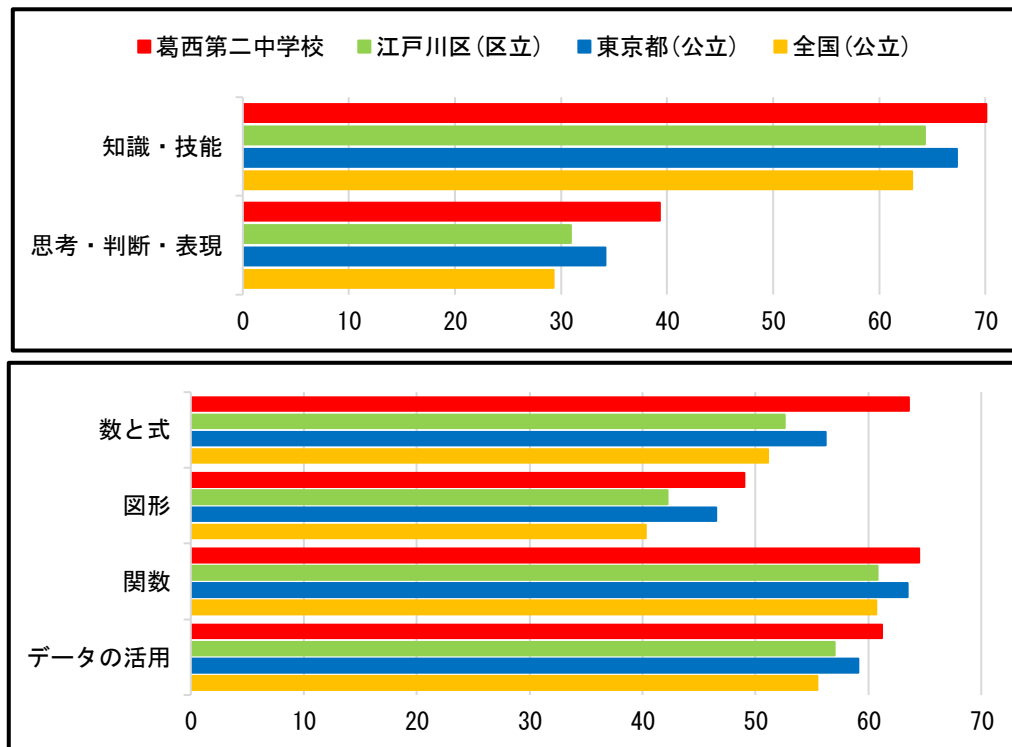


<四分位における割合(都全体の四分位による)>

数 学	上 位 ← 下 位			
	A層 13~16問	B層 9~12問	C層 6~8問	D層 0~5問
葛西第二中学校	31.4	30.6	20.7	17.3
江戸川区(区立)	22.3	28.5	23.6	25.6
東京都(公立)	26.2	30.1	21.4	22.3
全国(公立)	20.4	28.5	23.7	27.4

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

葛西第二中学校	60%
江戸川区(区立)	54%
東京都(公立)	57%
全国(公立)	52.5%
都との差	3ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

A・B層の割合が都や区の平均を上回っている。知識・技能の定着は見られるが、思考・判断・表現の正答率は全国と同様に低い。

習熟度別少人数指導では、C・D層の生徒にもB層の生徒に合わせた授業を行うことで学習内容の定着を図りたい。また、図形の証明の記述指導など、知識・技能を活用して生徒が表現する場を積極的に設けて思考・判断・表現の定着を図りたい。